



嘔吐と下痢～こんなときは注意

嘔吐と下痢は、胃腸だけでなく、いろいろな病気で起こります。そのため、それ以外にどのような症状があるかをみるのが大切です。

今月号では、それぞれ、どのような症状がある時に病院を受診したほうがよいのかをお話します。参考にしてください。

<嘔吐や下痢と一緒に次の症状がある場合は、すぐに病院へ>



嘔吐	下痢
意識がもうろうとする。	吐き気や嘔吐もある。
吐いたものに血が混じっている。	便に血が混じる。
激しい腹痛があり、繰り返し嘔吐がおこる。	腹痛が続く。
熱や腹痛が続く	高熱(38.5度以上)がある。
尿が出ない。	尿が出ない。
激しい頭痛があり、めまいや耳鳴りがある。	食欲がない。
目の奥の痛みや、視力の低下がある。	

◎ お子様の場合



お子様の場合、ちょっとしたことで嘔吐や下痢が起こります。下痢や嘔吐が1、2回だけで上記のような症状がなく、元気であれば、それほど心配ではない場合も多いです。

嘔吐・下痢、いずれの場合も、ぐったりしている、機嫌が悪い、食欲がない場合は要注意です。脱水症状を起こさないよう水分の補給が大切です。

◎ 何科にかかればいいのか？

嘔吐や下痢の原因によって、かかる診療科が分かれますが、まずは内科(できれば消化器内科・胃腸科)を受診して下さい。お子様の場合は小児科へ。

◎ お勧めのOTC(市販のお薬)

OS-1 (オーエスワン) 液 【 1本 200ml 又は 500ml 】
ゼリー 【 1個 200g 】

嘔吐や下痢、発熱で失われた水分やミネラルを補給します。

スポーツドリンクよりも含まれるミネラルは濃く、吸収されやすく作られています。

水やお茶だけで水分を補給すると、かえって体がだるくなることがあります。



摂取量	学童～成人	1日 500～1000mL (g)
	幼児	1日 300～600mL (g)
	乳児	1日 30～50mL (g) (体重1kg当たり)

たくさん飲んでも原因となる病気が完治することはありません。
ご不明な方は医師又は薬剤師にご相談下さい。